

これからの10年間、小千谷が目指すまちの姿

笑顔と希望を育む「おぢやの輪」を
みんなで未来へつなぐまち



おぢやの輪とは？

「おぢやの輪」は、小千谷との関わりの中で生まれる、次のような「つながりの輪」のことです。

- 世代や立場、場所を越えて想いを共有する "人と人とのつながりの輪"
- 暮らしや仕事、活動を通して生まれる "人とまちとのつながりの輪"
- 自然や文化、歴史に触れることで深まる "人と地域の宝とのつながりの輪"



おぢやの輪がもたらす好循環

「おぢやの輪」は、「つながりの輪」が何重にも重なり合うことで、より強く大きいものになります。その結果、新たな交流やにぎわいが生まれるとともに、地域経済が活性化することで、将来にわたり公共サービスを維持できる環境づくりにつながります。さらには、暮らしの安心感が高まり、まちへの愛着が深まることで、笑顔と希望がまち全体にあふれ、新しい「つながりの輪」が生まれていきます。



みんなで未来へつなぐまち

市民、企業、団体がそれぞれの立場から、「おぢやの輪」を少しずつ強く、大きくしていくために、全ての人が無理のない形でまちづくりに関わることができる仕組みづくりや環境づくりに取り組んでいきます。小千谷が20年後、30年後も、誰もが笑顔で希望を持ち、安心して暮らし続けられる、持続可能なまちであるように、互いを尊重し支え合いながら、できることから一歩を踏み出し、みんなで「おぢやの輪」を未来へつないでいくことを目指します。

目指すまちの姿を実現するために

小千谷市では今後も生産年齢人口の減少や少子高齢化が進み、まちの活力への影響が懸念されています。しかし、この現状や将来予測をただ受け止めるだけではありません。市民、企業、団体、行政が一体となり、笑顔と希望を育む「おぢやの輪」を未来へつなぐことで、人口の減少幅を最小限に抑え、持続可能なまちを目指します。

令和8年度～令和17年度の10年間を計画期間とする「おぢや未来ビジョン」の基本構想では、目指すまちの姿を実現するために、みんなで大切にしていきたいことを示しています。一人ひとりの行動の積み重ねが、未来の小千谷を育んでいくことにつながります。

おぢや未来ビジョン
基本構想の閲覧はこちら



大作戦展開中

10年後、20年後の未来を見すえ、
市民みんなが主役になって取り組むまちづくりプロジェクト

みんなの「一歩」で、未来づくり大作戦

ともに一歩を踏み出しませんか？
作戦にご協力いただく「未来づくりアンバサダー」を大募集しています！
詳細・応募は、右記二次元コードから未来づくり大作戦特設ページをご覧ください。

未来づくり大作戦の詳細は
特設ページをチェック!!



● 予算と主要事業、未来づくり大作戦に関する問い合わせ／小千谷市企画政策課 ☎0258-83-3507

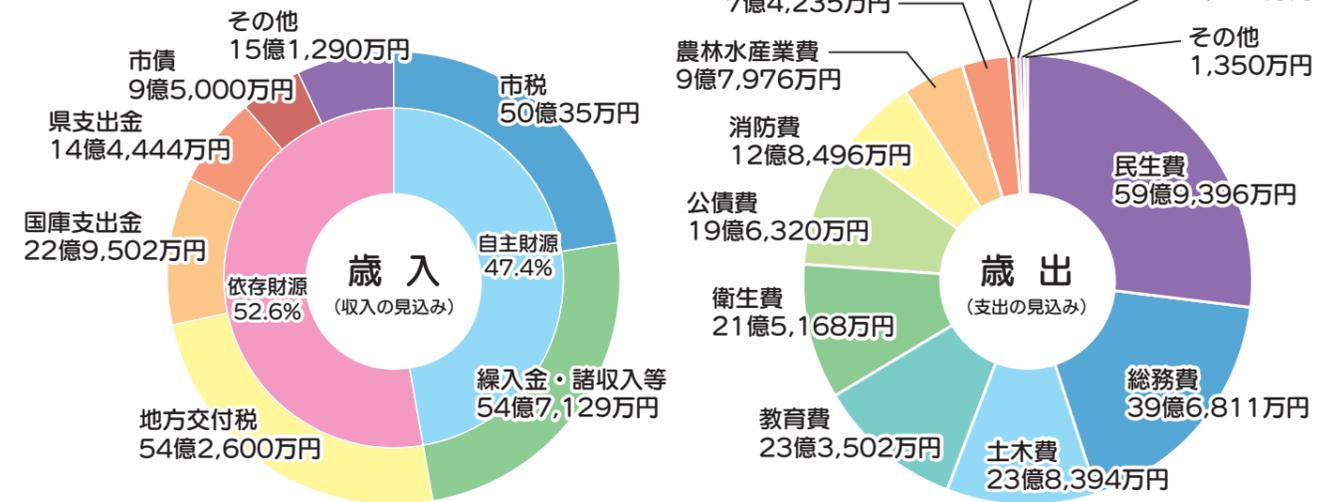
令和8年度

小千谷市の予算と主要事業

おぢや未来ビジョンで目指すまちの姿「笑顔と希望を育む"おぢやの輪"をみんなで未来へつなぐまち」

● 一般会計歳入・歳出の構成比 ※このほかに特別会計と企業会計があります。

総額 **221** 億円 (対前年度比13.3%減)



● 特別会計と企業会計

特別会計	81億5,370万円
国民健康保険	31億2,005万円
介護保険	38億8,247万円
後期高齢者医療	11億5,118万円
企業会計	49億8,051万円
水道事業	20億5,610万円
工業用水道事業	4億5,193万円
下水道事業	24億7,248万円

● 市の借金

	令和7年度末 残高	令和8年度 借入予定額	令和8年度 元金償還額	令和8年度末 残高見込
一般会計				
一般会計	183億8,862万円	9億5,000万円	16億9,119万円	176億4,743万円
企業会計				
水道事業	40億8,952万円	4億6,840万円	3億7,585万円	41億8,207万円
下水道事業	55億3,935万円	4億4,730万円	7億1,020万円	52億7,645万円

● 小千谷市民一人あたりの予算 (一般会計)

692,140 円

市の人口：31,930人 (令和8年2月28日時点)

- 高齢者・児童の福祉などに 187,722 円
- 市の事務管理・貯金などに 124,275 円
- 道路・河川・除雪・公営住宅などに 74,662 円
- 教育・文化・スポーツに 73,130 円
- 子育て・健康増進・環境対策などに 67,387 円
- 借入金返済のために 61,485 円
- 消防活動や防災対策に 40,243 円
- 農林水産業の振興に 30,685 円
- 商工業の振興・支援に 23,249 円
- 市議会運営に 4,802 円
- その他 4,500 円



市民総参加で笑顔と希望を育む「おぢやの輪」予算

ステージ2 「はたらく」 働きがいにあふれ、みんなが選びたくなるまちへ！

U・Iターン支援や起業家育成支援など、誰もが挑戦できる、挑戦を応援するまちへ

- 移住建替支援事業 1,000万円
- ずっと住まいる応援事業 2,000万円
- おぢやごころ奨学金返還支援事業 1,220万円
- 干ばつ応急対策等事業 670万円
- 世界錦鯉サミット関連事業 1,050万円
- 起業家育成支援事業 2,499万円
- チャレンジショップ運営事業 171万円
ほか

○ 移住・定住の促進と若者の還流支援

- 移住者や子育て世帯による中古住宅の建て替え(解体・新築)費用の補助を開始し、定住を促進します。
- 家賃補助や奨学金返還支援を継続し、若年層の経済的負担の軽減と市内への定着を図ります。

○ 地域産業の振興

- GX戦略地域への挑戦など、新たな産業の育成や企業誘致などに取り組みます。
- 渇水対策を拡充し、異常気象への対応や農業者による安定的な生産体制確保を支援します。

○ 新たなビジネス創出への挑戦支援

- 起業家育成支援事業BALLOONによる伴走型支援やチャレンジショップ運営事業によって創業希望者の挑戦を後押しし、地域経済の新たな担い手を育成します。

ステージ3 「くらす」 心豊かに、いきいきと暮らせるまちへ！

災害や豪雪への備えと医療の確保、福祉の充実で安心して暮らせるまちへ

○ 都市基盤の整備と公共交通の利便性向上

- JR小千谷駅周辺のバリアフリー化事業や片貝地区での商業施設立地促進などにより、利便性の高い都市構造への転換を図ります。
- AIオンデマンド交通「イコテ」の運行や免許返納を検討する高齢者などへの公共交通の利用支援により、市民生活の利便性を高めます。

○ 地域医療体制の確保

- 医療機関の新規開業支援や総合病院の運営支援を拡充し、地域医療体制の充実・確保を図ります。

○ 市民生活への緊急支援

- 水道料金の基本料金を7か月に渡って減免するなど、市民の経済的負担の軽減を図ります。

○ 災害や豪雪への備えによる安全安心な地域づくり

- 災害時の備えとしてトイレカーを整備し、災害対応力を強化します。
- 除雪車の新規導入や消雪パイプなどの融雪施設整備により、豪雪への備えを充実させます。

- 地域防災緊急整備事業 1,260万円
- 公共交通利用促進事業 123万円
- 厚生連病院経営安定化事業 7,000万円
- 診療所開設支援事業 5,000万円
- 助産師就業助成事業 200万円
- 物価高対策事業 2億1,170万円
- 流雪溝投雪口整備事業 144万円
- 都市機能立地促進事業 3,000万円
- 駅周辺基盤整備事業 1,600万円
ほか

ステージ1 「こそだて」 安心してこどもを産み育てられるまちへ！

切れ目のない支援と経済的負担の軽減で、子育て応援ナンバー1のまちへ

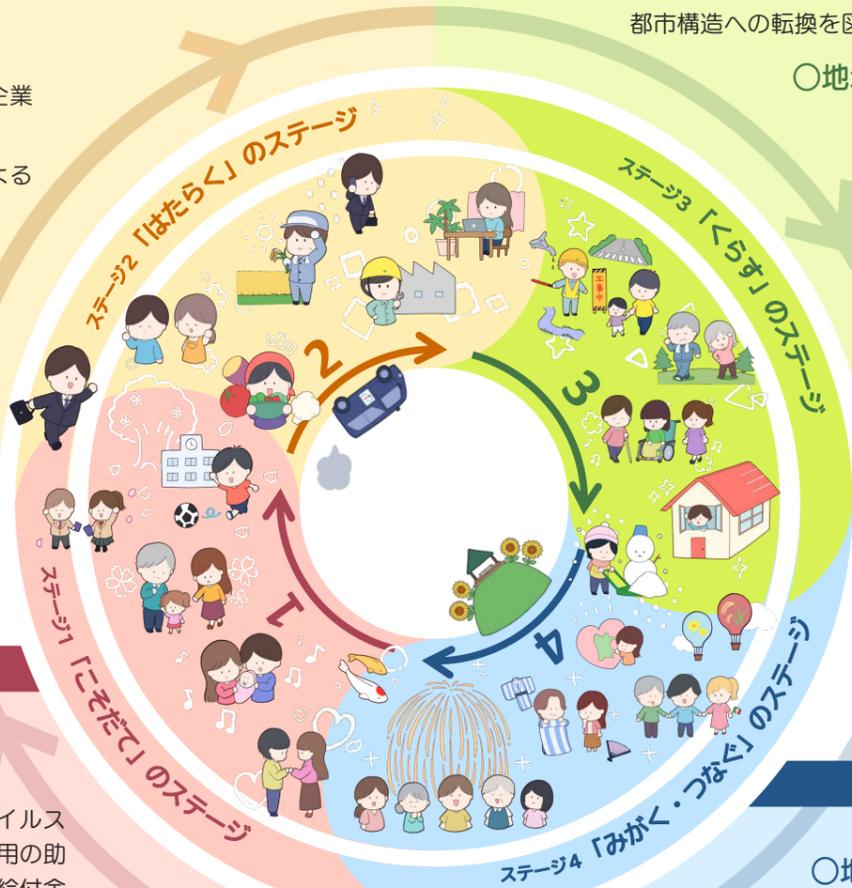
- 子ども医療費助成事業 1億1,954万円
- RSウイルスワクチン予防接種助成事業 578万円
- 妊産婦医療費助成事業 1,354万円
- 不妊不育治療費助成事業 600万円
- 妊婦のための支援給付事業 1,898万円
- こども若者家庭センター事業 761万円
- 放課後児童健全育成事業 8,910万円
- 学びの多様化学校運営事業 2,065万円
- 学校給食費負担軽減事業 4,129万円
ほか

○ 経済的負担の軽減

- こども医療費(高校卒業まで)や妊産婦医療費を助成し、こどもに係る医療費の完全無償化を継続します。
- 新たに小学校給食費の完全無償化実現や中学校給食費の助成拡充により、保護者負担を軽減します。
- 妊婦へのRSウイルスワクチン接種費用の助成開始や、支援給付金、不妊・不育治療費の助成継続により、妊娠・出産期の経済的負担軽減と健康維持を支援します。

○ 切れ目のない支援体制の強化

- 「こども若者家庭センター」を新設し、妊娠期から子育て期までの包括的な相談支援体制を構築します。
- 「学びの多様化学校」の運営を開始し、生徒の希望に沿った多様な教育機会を提供します。
- 放課後児童クラブの運営費補助を拡充して指導員の確保などによる質の向上を図ります。



ステージ4 「みがく・つなぐ」 誇れる自然と文化、にぎわいあふれる交流のまちへ！

地域資源の魅力を磨き上げ、効果的に発信することで、誰もが誇りに思うまちへ

○ 地域資源のブランド化と戦略的発信

- 外部人材を活用した地域ブランディングや生産者と連携した農産物ブランド(錦の実り)の強化、山本山のさらなる魅力づくりなどにより、おぢやブランドの戦略的発信と高付加価値化を推進します。
- ふるさと納税に関する情報発信強化と返礼品拡充を図り、本市の認知度向上と寄附額の増加につなげます。

- 二地域居住推進実証事業 2,088万円
- ブランディング推進事業 200万円
- 寄附金拡大プロジェクト 4,060万円
- 農産物ブランド強化取組推進事業 266万円
- 錦鯉地域活性化事業 275万円
- スポーツコミュニティプレイス運営事業 1億125万円
- クマ等有害鳥獣被害防止対策事業 339万円
- 観光施設整備事業 420万円
- 山本山観光サイン設置事業 1,200万円
ほか

○ 交流拠点の活用と関係人口の創出

- スポーツコミュニティプレイス「ソコラテ」のオープンにより、多世代間交流の促進と震災の経験・教訓の伝承を図ります。
- 二地域居住推進実証事業による多様な生活スタイルの実現や関係人口の拡大を図ります。
- 効果的な情報発信と観光施設への誘導などにより、当市の地域資源の魅力が市内外の人々に伝わることで、シビックプライドの醸成を図ります。